

事業報告

〔自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日〕

I 会社の現況に関する事項

1 事業の経過及びその成果

我が国の経済は、本年2月の新型コロナウイルスの感染が拡大するまでは、緩やかな回復傾向にありましたが、2月下旬の一連の活動自粛要請後は経済情勢が激変し、さらに4月7日には新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令され、国民が一丸となって同感染症対策に取り組む中、景気は急速に悪化しており、極めて厳しい状況にあります。加えて、同感染症の終息が不透明であることから、先行きについても、引き続き厳しい状況が続くと見込まれております。

一方、我が国のライブ・エンタテインメント市場は、同感染症の影響を大きく受け、3月以降は全国においてほぼ全ての公演等が中止・延期に追い込まれ、先行きが見えない状況となっており、イベント業界にとってこの状況が続くことは死活問題となっております。

このような中、当ホールにおきましては、より安全で安心して快適にご利用いただける施設をめざしながら、防災等の訓練などソフト面の安全対策も積極的に取り組むとともに、積極的な営業プロモーションを展開したことにより2月下旬までは高稼働率を維持し、各種多彩なイベントが開催されました。しかしながら、2月下旬以降は全ての公演が中止となり、全国のライブ・エンタテインメント市場同様に全く先行きが見えない厳しい状況となっております。

その結果、アリーナの稼働日数は308日（本番日数195日）稼働率84.2%となり、前事業年度の稼働日数335日（本番日数205日）、稼働率91.8%を大きく下回りました。これにより、事業収入も19億65百万円と、前事業年度(21億36百万

円)に比し減収となり、これに広告収入等の関連事業収入1億10百万円(前事業年度99百万円)を加えた総売上高は20億75百万円と、前事業年度(22億36百万円)に比し7.2%の減となりましたが、2月まで事業経営が順調であったため、この程度の減にとどめることが出来ました。

一方、売上原価は、3月のイベント中止等により、10億51百万円と前事業年度10億99百万円を下回り、販売費及び一般管理費の1億1百万円と合わせた経費合計は11億52百万円と、前事業年度(12億5百万円)を52百万円、4.4%下回りました。

この結果、当事業年度の営業利益は9億22百万円(営業利益率44.5%)、経常利益は9億40百万円(経常利益率45.3%)、法人税等を差し引いた当期純利益は6億14百万円(当期純利益率29.6%)となり、前事業年度当期純利益(6億86百万円、当期純利益率30.7%)を若干下回りました。